

平成16年3月19日

報道機関 各位

広島大学総務部大学情報室長
西田良一

広島大学学位記授与式の挙行について

平成15年度広島大学学位記授与式を下記のとおり挙行しますのでお知らせします。

つきましては、『式次第』、『学長告辞』、『卒業、修了者数調(修士、博士を含む)』、『総代等各代表者名簿』、『学生表彰者一覧』及び『就職状況』を別添のとおり送付します。

なお、式場で取材をされる場合は、自社の腕章を着用していただくようお願いいたします。

記

日時 平成16年3月23日(火) 11時開式
場所 東広島運動公園体育館
(東広島市西条町大字田口67番地の1)

【お問い合わせ先】

広島大学総務部総務課総務係長
仲良夫
TEL:(082)424-6016
(ダイヤルイン)

[発信枚数:A4版 14枚(本票含む)]

- ・[学位授与式式次第](#)
- ・[学長告辞](#)
- ・[卒業者数調](#)
- ・[修了者数調\(修士、博士\)](#)
- ・[総代等各代表者名簿](#)
- ・[学生表彰者一覧](#)
- ・[就職状況](#)

平成15年度 広島大学学位記授与式

日 時 平成16年3月23日(火)11時開式

場 所 東広島運動公園体育館

式次第

- 一、開式の辞
- 一、国歌演奏
- 一、卒業証書学位記及び修了証書授与
- 一、修士学位記授与
- 一、博士学位記授与
- 一、学長告辞
- 一、在学生代表送辞
- 一、卒業生及び専攻科修了生代表謝辞
- 一、修士及び博士学位記被授与者代表謝辞
- 一、留学生代表謝辞
- 一、学生表彰
- 一、広島大学歌斉唱
- 一、閉式の辞

告 辞

「広島大学のアイデンティティ」

皆さん、ご卒業おめでとうございます。ご参列のご家族の皆さん、本日はまことに
おめでとうございます。

私は、卒業生の皆さんに、広島大学の卒業生としての自覚を改めて促したいと思
い、「広島大学のアイデンティティ」という言葉を、皆さんへのはなむけの言葉として選
びました。

アイデンティティ(identity)とは、他者とは違う独自の性質、自分を他者とは 違うもの
と考える明確な意識のことで、「独自性」とか「自己認識」と訳されています。「広島大
学のアイデンティティ」とは、広島大学が他の大学と明確に区 別される独自の個性の
ことです。

近年、企業などでその独自性を明確にするために、コーポレートアイデンティティ (C
I)の論議が盛んになされています。この考え方を大学に適用したのがユニ バーシテ
ーアイデンティティ(UI)です。広島大学では、本学の特性を明確 にして、外部の人々
に広島大学を強く印象づける必要性を認め、広島大学の独自 性とは何かを客観的な
調査に基づいて見つめ直すとともに、広島大学が如何にあるべきか、どうあってほし
いかを討議し、外部に対してどのような訴えかけをしていくのが効果的であるかを検
討しています。

「広島大学の實力」を客観的に知りたいと考え、研究面での実績を統計データに 基
づいて調べると、科学研究費獲得数、論文発表数、特許取得率などでは、全国 の大
学の中で一桁台の順位に入っています。広島大学は研究実績面ではトップテンに入
っていると言えます。ところが「それなのに広島大学はあまり知られてい ない」という現
実もあります。例えば、大学ランキングの本などを見ると、確か に研究面ではトップテ
ンの中ですが、企業の役員によるアンケート結果とか高校 の先生や受験生のアンケ
ート結果を見ると、二桁台の半ばで、相当に知名度が低く 且つ人気度も低いと認識せ
ざるを得ません。研究面ではこれだけ高い實力を備え ているにも拘わらず、知名度や
人気度が低いというのはどういうことでしょうか。

一つは、単に知られていないということだと思われます。即ち、首都圏や関西圏 の
大学に比べて地方の大学は知名度においてどうしても不利になるというこ 事は あるで
しょう。もっと社会にアピールして知ってもらうべきです。ここに、短期 的戦略として、で
きるだけ知ってもらうための広報活動を推進する必要があります。実際、広島大学
では、「挑戦する意欲を持ち、行動を起こす人材が育つ広 島大学」というイメージを掲
げてUIプロジェクト活動を進めており、先般広島 大学のコミュニケーションマークを公
表したのもその一端です。

もう一つは、企業など一般社会で卒業生がそれほど目立っていないということも あ
ると思われます。広島大学の卒業生は割合地味で目立たないのです。目立たないけ

れども実際仕事をやらせれば実力があるのです。地味で目立たない、堅実で誠実である、というのは決して悪いことではありません。これ自体は誇るに足ることです。問題は、実力で目にも物を見せることによって認知度を高めるというところで、ここがまだ弱いのではないのでしょうか。それで長期戦略として、卒業生が社会のニーズに合った高い学力を備えていて、人格や行動力においても「いかにも広島大学卒だ」と思われるようにするための教育体制を整えることが重要です。このための教育の質的向上を目指した改革プランを現在練っているところです。

広島大学の存在感を高めるためのこれらの活動の結果は、社会に出た卒業生諸君の活躍によって実証され、社会の信頼を得ることになります。UI活動の成否を握っているのは卒業生諸君に他なりません。

広島大学の現在のアイデンティティは、多くの先輩達の努力によって形成されてきました。これに新たなアイデンティティを加えていくのは、ここにいる卒業生の皆さんです。皆さんは社会に出れば、当然のことながら、広島大学卒業生として認識されます。皆さんが社会でどのように振る舞い、どのような活動をするかが、全て広島大学への評価として跳ね返り、それが結果的には広島大学のアイデンティティ形成にと結びつくのです。皆さんが、広島大学卒業生として強い自覚を持って社会で活躍されることを期待しています。

卒業生・修了生の皆さんの健闘を心から願ってご挨拶を終わります。

平成16年3月23日

広島大学長 牟田 泰三

平成15年度広島大学卒業生数

平成16年3月23日卒業

| 学 部 | | 卒業生数 | 筆頭者氏名 |
|------------|-------|-----------------------|--------|
| 総合科学部 | | 134(75) | 青木 陽子 |
| 文学部 | | 164(101) * 1(1) | 畦田 さやか |
| 教育学部 | | 505(313) | 相原 しのぶ |
| 学校教育学部 | | 13(3) | 岩城 宇紀 |
| 法学部昼間コース | | 160(71) * 2(1) | 秋山 崇之 |
| 法学部夜間主コース | | 85(43) | 荒巻 明美 |
| 法学部第二部 | | 0(0) | |
| 経済学部昼間コース | | 140(49) * 2(0) | 池内 大祐 |
| 経済学部夜間主コース | | 67(20) | 相原 淳一 |
| 経済学部第二部 | | 0(0) | |
| 理学部 | | 232(63) | 安達 隆仁 |
| 医学部 | 医学科 | 91(24) | 相野田 祐介 |
| | 総合薬学科 | 65(46) | |
| | 保健学科 | 126(106) | |
| 歯学部 | | 53(21) | 有木 美早 |
| 工学部 | | 567(76) * 2(1) | 浅浦 慎也 |
| 生物生産学部 | | 122(67) * 1(0) | 赤瀬 ゆう子 |
| 計 | | 2,524(1,078) * 8(3) | |

平成15年度広島大学専攻科修了者数

| 専攻科 | 修了者数 | 筆頭者氏名 |
|-----------|---------|-------|
| 特殊教育特別専攻科 | 10(10) | 油目 美帆 |

(注)()内は女子で内数 *は外国人留学生で内数

平成15年度広島大学大学院博士課程前期及び修士課程修了者数

| 研究科名 | 修了者数 | 筆頭者氏名 |
|-----------|-------------------------|--------|
| 文学研究科 | 49 (15) * 1 (1) | 吉川 創信 |
| 教育学研究科(旧) | 0 (0) | |
| 教育学研究科(新) | 197 (92) * 17 (10) | 安東 千賀子 |
| 社会学研究科 | 102 (43) * 16 (11) | 安部 恵 |
| 理学研究科 | 134 (33) | 増田 紀宜 |
| 先端物質科学研究科 | 97 (10) * 4 (2) | 宇都宮 大輔 |
| 保健学研究科 | 29 (20) * 1 (1) | 阿南 雅也 |
| 医学系研究科 | 2 (1) | 遠藤 万里子 |
| 工学研究科 | 319 (23) * 14 (5) | 秋竹 教行 |
| 生物圏科学研究科 | 108 (31) * 4 (1) | 井原 大輔 |
| 医歯薬学総合研究科 | 51 (26) | 赤木 信之 |
| 国際協力研究科 | 53 (22) * 27 (11) | 磯崎 由行 |
| 合 計 | 1,141 (316) * 84 (42) | |

(注)()内は女子で内数 *は外国人留学生で内数

教育学研究科(新)は、平成12年4月、既設の教育学研究科及び学校教育研究科を改組・再編したものの。

平成15年度広島大学大学院博士課程及び博士課程後期修了者数

| 研究科名 | 課程 | 修了及び授与者数 | 筆頭者氏名 |
|-----------|------|------------------|--------|
| 文学研究科 | 課程博士 | 14(4) * 2(2) | 遠藤 耕二 |
| | 論文博士 | 12(1) | 梅田 克樹 |
| 教育学研究科 | 課程博士 | 31(13) * 10(4) | 渡部 倫子 |
| | 論文博士 | 7(2) | 木原 誠一郎 |
| 社会学研究科 | 課程博士 | 8(4) * 2(2) | 鄒 文星 |
| | 論文博士 | 2(0) * 1(0) | 有元 光彦 |
| 理学研究科 | 課程博士 | 28(2) * 1(0) | 永田 武史 |
| | 論文博士 | 5(1) | 石田 孝 |
| 先端物質科学研究科 | 課程博士 | 13(0) * 2(0) | 洪 昌秀 |
| | 論文博士 | 2(0) | 小山 浩史 |
| 医学系研究科 | 課程博士 | 70(20) * 5(3) | 山本 大誠 |
| | 論文博士 | 10(2) * 1(0) | 丸石 正治 |
| 歯学研究科 | 課程博士 | 26(4) | 本山 智得 |
| | 論文博士 | 8(0) | 木村 一水 |
| 工学研究科 | 課程博士 | 29(1) * 9(1) | 高 敏 |
| | 論文博士 | 6(0) | 関口 泰久 |
| 生物圏科学研究科 | 課程博士 | 31(5) * 12(3) | 上田 一貴 |
| | 論文博士 | 4(1) | 森川 俊雄 |
| 医歯薬学総合研究科 | 課程博士 | 2(1) | 久岡 一恵 |
| | 論文博士 | 0(0) | |
| 国際協力研究科 | 課程博士 | 13(6) * 9(5) | 小野 理恵 |
| | 論文博士 | 1(0) | 菅原 憲一 |
| 合計 | 課程博士 | 265(60) * 52(20) | |
| | 論文博士 | 57(7) * 2(0) | |

(注)()内は女子で内数 *は外国人留学生で内数

平成15年度学位記授与式 各代表

16. 3. 23

| 区分 | 項目 | 学部及び研究科 | 学科及び専攻 | 氏名 |
|--------|------------|---------|----------------------|-------|
| 学部・専攻科 | 代請者 | 法学部 | 法学科 | 中原 昌孝 |
| | 送辞者 | 工学部 | 第一類 | 木村 啓介 |
| | 謝辞者 | 生物生産学部 | 生物生産学科 | 力本 泰次 |
| 大学院 | M 代請者 | 文学研究科 | 博士課程前期 人文学専攻 | 下野 直章 |
| | D 代請者 | 工学研究科 | 博士課程後期 複雑システム工学専攻 | 河村 敏彦 |
| | M・D 謝辞者 | 社会学研究科 | 博士課程前期 国際社会論専攻 | 大塚 安芸 |
| | 留学生 謝辞者 | 理学研究科 | 博士課程後期 物理科学専攻 | 謝 天 |

表彰者一覧

平成16年3月23日(火)(学位記授与式)

(1)学術研究活動 学部生(成績優秀者)

(規程第2条第1号該当)

| 候補者氏名 | 推薦事項 | No |
|--------------------------|----------------|----|
| 総合科学部 総合科学科 三島 ゆかり | 学業成績が極めて優秀である。 | 1 |
| 文学部 人文学科 畦田 さやか | 学業成績が極めて優秀である。 | 2 |
| 教育学部 第一類(学校教育系) 宗田 晶子 | 学業成績が極めて優秀である。 | 3 |
| 法学部 法学科 中原 昌孝 | 学業成績が極めて優秀である。 | 4 |
| 経済学部 経済学科 中村 美智 | 学業成績が極めて優秀である。 | 5 |
| 理学部 生物科学科 平松 菜美子 | 学業成績が極めて優秀である。 | 6 |
| 医学部 保健学科 小田川 絢子 | 学業成績が極めて優秀である。 | 7 |
| 歯学部 歯学科 向山 敦子 | 学業成績が極めて優秀である。 | 8 |
| 工学部 第二類(電気系) 近江 亨 | 学業成績が極めて優秀である。 | 9 |
| 生物生産学部 生物生産学科 後藤 千晴 | 学業成績が極めて優秀である。 | 10 |

(1)学術研究活動 学部生(その他)

(規程第2条第1号該当)

| 候補者氏名 | 推薦事項 | No |
|----------------------|------------------------------------|----|
| 総合科学部 総合科学科 平田 千恵 | 第34回全日本学生フランス語弁論大会において毎日新聞社賞を受賞した。 | 1 |

(1)学術研究活動 大学院生

(規程第2条第1号該当)

| 候補者氏名又は団体名 | 表彰に値すると認められる行為等 | No |
|---|---|----|
| 大学院理学研究科 博士課程前期 地球惑星システム学専攻(M14) 榊原 直樹 | 放射光を用いた地球科学・環境科学の研究を進展させ、様々な地球科学・環境科学的知見を明らかにし、その研究分野を応用物理系、一般化学系、地球化学系という異なった分野の国際学術雑誌に発表・投稿するなど極めて顕著な研究業績をあげており、国内外において高い評価を得ている。 | 1 |

| | | |
|---|---|----|
| 大学院先端物質科学研究科 博士課程前期 量子物質科学専攻(M14) Navarro, Dondee Serveza | 半導体理工学研究センター(STARC)シンポジウムにおいて、日本有数の研究組織からの参加に限定されている学生ポスターセッションで、30名の発表者の中からプレゼンテーション特別賞を受賞した。また、国際的に認知されている著名な学術論文誌IEICEで招待論文の名誉を受け、研究成果のレベルの高さが認知された。 | 2 |
| 大学院工学研究科 博士課程前期 物質化学システム専攻(M14) 黒水 泰守 | 2003年度粉体工学会秋期研究発表会において、研究題目「球状蛍光体ZnS:Mn ⁽²⁺⁾ 粒子の直接合成」を発表し、研究内容及び発表方法に高い評価を受け、ベストプレゼンテーション賞を受賞した。 | 3 |
| 大学院工学研究科 博士課程前期 物質化学システム専攻(M14) 杉山 佑一 | 2003年度粉体工学会秋期研究発表会において、研究題目「超音波噴霧火炎法による酸化物微粒子の製造」を発表し、研究内容及び発表方法に高い評価を受け、ベストプレゼンテーション賞を受賞した。 | 4 |
| 大学院理学研究科 博士課程後期 生物科学専攻(D14) 小川 智弘 | 第17回肝類同壁細胞研究会学術集会において、肝硬変や肝ガンの患者の診断や治療のために極めて重要な研究課題であるとされている分野における「肝臓筋繊維芽細胞のFACSによる分離とその細胞特性の解析」について発表し、発表演題数31件の中から最優秀演題賞を受賞した。 | 5 |
| 大学院理学研究科 博士課程後期 数理分子生命理学専攻(D13) 松尾 光一 | 生体高分子の構造解析への応用をめざして、真空紫外円二色性測定装置(VUVCD)の開発を行い、市販の装置では不可能であった140nmまでの真空紫外領域のCDスペクトル測定を世界に先駆けて成功した。これらの研究成果を4編のファーストオナーを含む5編の論文として英文の学会誌に発表し、国内外の学界で高い評価を受けている。また、平成15年4月から平成17年3月まで日本学術振興会特別研究員に採用されている。 | 6 |
| 大学院先端物質科学研究科 博士課程後期 量子物質科学専攻(D14) Yudi Darma | International Microprocesses and Nanotechnology Conferenceにおいて、Young Author's Award候補者71名から1名選出されるYoung Author's Awardを受賞した。また、Intern.Conf on Solid State Devices and Materialsにおいても、SSDM Young Researcher Awardの受賞が内定している。 | 7 |
| 大学院生物圏科学研究科 博士課程後期 生物生産学専攻(D13) Sur Vishwajit CHOWDHURY | 摂食制御がニワトリの下垂体機能を亢進させるという新しい理論を多数の実験により確立した。学術論文の多くは国際的に評価が高い米国の専門誌に掲載され、国内外で高い評価を受け、国際的な視点から学業が極めて優秀な学生に授与される2003年度D.N.CHORAFAS FOUNDATION賞を受賞した。 | 8 |
| 大学院歯学研究科 博士課程 歯学系専攻(D13) 當麻 愉衣子 | 中国経済連合会・中国地域産学官コラボレーション会議・中国地方産業人クラブ・日刊工業新聞社共催の「第2回キャンパスベンチャーグランプリ」において、「歯科矯正治療期間短縮と歯が痛まない装置の開発」の事業案が評価され、特別賞(中国経済産業局長賞)を受賞した。 | 9 |
| 大学院国際協力研究科 博士課程後期 開発科学専攻(D13) | 乳牛の繁殖効率の低下の原因を内分泌学的に解明した研究成果が高く評価され、国際学術誌(Theriogenology:Impact Factor) | 10 |

| | |
|--------------------------|---|
| Hemanta KumarShrestha | に2編の論文が掲載されると共に、米国の獣医生殖医学会 (Society for Theriogenology) の2003年度年次大会で口頭発表し、発表内容に高い評価を得た。 |
|--------------------------|---|

(2) 課外活動

(規程第2条第2号該当)

| 候補者氏名又は団体名 | 表彰に値すると認められる行為等 | No |
|---|--|----|
| 体育会柔道部(4名) 岩下 郁恵(11教・教科) 岩脇あすか(12教・四類) 中野 裕子(13教・四類) 東家佳奈子(14教・四類) | 第10回中国四国学生女子柔道優勝大会 女子団体優勝 大会開催日:平成15年5月24日(土) 開催場所:広島県立総合体育館武道場 | 1 |
| 中野 裕子(13教・四類) (体育会柔道部) | 第19回中国四国学生女子柔道体重別選手権大会 個人戦優勝 大会開催日:平成15年8月31日(日) 開催場所:広島県東区スポーツセンター | 2 |
| 体育会水泳部(3名) 山下奈穂子(12教・一類) 黒坂 志穂(14教・四類) 小野 結貴(15教・四類) | 第50回全国国公立大学選手権水泳競技大会 大会開催日:平成15年8月9日(土)~10日(日) 開催場所:熊本市総合室内プール 女子400M自由形 第7位 山下奈穂子 女子100M平泳ぎ 第5位 黒坂志穂 女子200M平泳ぎ 第6位 黒坂志穂 男子200M個人メドレー 第7位 小野結貴 | 3 |
| 体育会アメリカンフットボール部(35名) 岩城 宇紀(11学教・小) 砂後 隆太(12工・一類) 花房 貴宏(12工・三類) 矢尾 廣史(12教・四類) 寺尾 泰昭(12理・物理) 竹田 陽一(12工・二類) 城戸崎光則(12工・三類) 新村 雅雄(12教・一類) 岡田 宗久(12理・物理) 定本 貴裕(12工・一類) 竹内 聡(13工・四類) 田上 悠樹(13理・数学) 濱本 誠一(13工・一類) 石橋 裕己(13法・法昼) 井上 達哉(13理・数学) 杉盛 正和(13理・地球) 佐藤 昌平(14文・人文) 井元 壮輔(14工・四類) 柚木 日吉(14生・生生) 工藤 拓也(14法・法昼) 濱田 将宏(14理・地球) 手塚 誠人(14教・一類) 堀之内 健(14工・四類) 土居 孝之(15工・三類) 富永 亮(15工・一類) 坂本 紘平(15生・生生) 川本 慎二(15理・化学) 福田 修悟(15理・物理) 家藤 憲司(15工・四類) 日吉 裕次郎(15理・物理) 中井 俊之(15教・一類) 寺田 和弘(15理・数学) 藤原 雄(15教・二類) | 2003年度平和台ボウル 優勝 大会開催日:平成15年11月16日(日) 開催場所:福岡市 平和台陸上競技場 (注)平和台ボウルは、中四国リーグ優勝チームと九州リーグ優勝チームとが対戦するもので、勝者は関西一部リーグ校との西日本王座決定戦に出場する。 | 4 |

| | | |
|---|--|----|
| 後藤 雄治(15生・生学) 宮崎 拓也(15理・物理) | | |
| 体育会卓球部(4名) 村上 さや香(12教・三類) 矢田 優(13文・人文) 増井 聡子(14文・人文) 片山 直美(15法・法昼) | 第54回中国学生卓球選手権秋季大会 女子団体優勝 大会開催日:平成15年8月14日(木)~16日(土) 開催場所:松江市総合体育館 | 5 |
| 増井 聡子(14文・人文) (体育会卓球部) | 第20回中国四国学生卓球選手権大会 女子シングルス優勝 大会開催日:平成15年6月13日(金)~14(土) 開催場所:松江市コミュニティーセンター | 6 |
| 体育会陸上競技部(7名) 桂 剛(M14・教育) 下村 健悟(M14・教育) 岸 麻衣子(M15・教育) 池下真知子(12教・四類) 三丸 文恵(13教・四類) 水谷 笑子(14教・四類) 北村 裕規(15理・地球) | 第26回中国四国学生陸上競技選手権大会 大会開催日:平成15年10月17日(金)~20日(日) 開催場所:香川県立丸亀競技場 男子110mH 優勝 桂 剛 男子10種競技 優勝 下村健悟 女子4×400mR 優勝 三丸, 水谷, 岸, 池下 女子400mH 優勝 水谷笑子 男子10,000m競歩 優勝 北村裕規 | 7 |
| 元水 歩(12経・経昼) 浅野 昭彦(13教・四類) (体育会ソフトテニス部) | 第32回中国学生ソフトテニス選抜インドア大会 男子の部準優勝 大会開催日:平成15年12月16日(火) 開催場所:広島サンプラザ | 8 |
| 体育会弓道部(10名) 千鳥 博史(12工・一類) 嵩下 雄介(12工・四類) 柘宜 卓(12工・四類) 原 忠司(12理・地球) 蔭山 晋也(13工・三類) 神川 千春(13理・数学) 將基面 武(13教・二類) 野口 裕之(13経・経昼) 木元 雄太(14工・二類) 西 洋平(14工・二類) | 第36回中国学生弓道競技大会 男子団体優勝 大会開催日:平成15年4月26日(土)~27日(日) 開催場所:鳥取市民体育館 | 9 |
| 蔭山 晋也(13工・三類) (体育会弓道部) | 第9回中国四国学生弓道新人戦 最高の中者賞 平成15年3月8日(土)~9日(日)徳島大学弓道場 第36回中国学生弓道競技大会 個人3位 平成15年4月26日(土)~27日(日)鳥取市民体育館 第49回中国四国学生弓道選手権大会 個人3位 準最高の中者賞 平成15年10月23日(木)~25日(土)呉市OAKアリーナ 第49回東西学生弓道選抜対抗試合 西日本代表 平成15年11月28日(金)~29日(土)伊勢神宮弓道場 | 10 |
| 教育学部 毛利孫Sチーム (10名) 徳田 誠(D14・教育) 木下 優(M14・教育) 小山 雅樹(12教・二類) 嶋本 雅宏(12教・二類) 須山 浩司(12教・二類) 林 裕美(12教・二類) 足立 宏輝(13教・二類) 有岡 大介(13教・二類) 岡廣 徹(13教・二類) 坂本 雄史(13教・二類) | 読売新聞社大阪本社主催の第3回レスキューロボットコンテストでレスキュー工学大賞を受賞した。 本コンテストは、阪神・淡路大震災をきっかけに、レスキューロボットの開発、並びにレスキュー活動の啓蒙を目的としたもので、書類審査(19チーム)を経た高校、高専、大学、社会人による12チームが出場し、最高賞である「レスキュー工学大賞」を受賞した。 大会開催日:平成15年8月2日~3日 開催場所:豊中市よみうり文化センター | 11 |
| 高山 武士(M14・工) | 第2回住空間デザインコンペで、佳作に入選した。 当該コンペは、目標を「新しい都市居住をデザインで提案する」に置いた、社会人及び大学院、学部生を問わず応募可能なコンペであり、応募登録1,255件、応募作品数438件の中から、最優秀賞1点、優秀賞2点、佳作5点の計8点が入賞し | 12 |

たものであり、大学院生、学部生の他に一般の建築家を交えたコンペで入賞をはたしたことは特筆すべき業績である。

(3) 社会活動

(規程第2条第3号該当)

| 候補者氏名又は団体名 | 表彰に値すると認められる行為等 | No |
|----------------------------|--|----|
| 山下 究(12工・三類) (ピア・サポーター) | 平成12年度のピア・サポーター養成セミナーに参加し、平成13年度から、ピア・サポーターとして平成15年度末まで相談活動に従事した。本学のピア・サポート・ルームは平成12年4月に開設されたもので、システムがほとんど定着していないなか、ピア・サポーターとしての活動は、困難をきわめたが、持ち前のボランティア精神で未知の領域を開拓し、その基礎づくりに貢献した。また、献身的な姿勢は後輩のピア・サポーターによき模範を示した。 | 1 |
| 窪田 保(12生・生生) (ボランティア活動) | けん玉を通じたボランティア活動を精力的に行い、広島を中心に全国、海外でも活動を続けてきた。これまでに国内で200回以上、小学校や児童館、老人ホームなどを訪問し、総合的な学習の時間や生涯学習活動に貢献してきた。また、モンゴルにおいては、小・中学校や大学を多数訪れる外、モンゴルけん玉連盟と連携してモンゴルけん玉大会を運営し、国際交流に多大な貢献をした。 | 2 |

平成16年3月卒業・修了者就職状況

平成16年3月19日現在

| 学部・研究科等 | 卒業者・修了者数 | 就職希望者数(A) | 就職決定者数(B) | | | 就職率 (B)/(A)% | 非就職者数 | | 備考 |
|----------------|--------------|-------------|-----------|----------|-----------|-----------------|-----------|----------|----|
| | | | 一般職 | 教職 | 就職決定者計 | | 進学 | 自営その他 | |
| 総合科学部 | 134 (75) | 85 (56) | 73 (50) | 0 (0) | 73 (50) | 85.9 | 45 (17) | 4 (2) | |
| 文学部 | 164 (101) | 114 (73) | 68 (49) | 5 (2) | 73 (51) | 64.0 | 40 (23) | 10 (5) | |
| 教育学部 | 505 (313) | 348 (247) | 89 (73) | 111 (80) | 200 (153) | 57.5 | 123 (48) | 34 (18) | |
| 学校教育学部 | 13 (3) | 8 (2) | 1 (0) | 2 (1) | 3 (1) | 37.5 | 3 (1) | 2 (0) | |
| 法学部 | 160 (71) | 106 (47) | 65 (28) | 0 (0) | 65 (28) | 61.3 | 7 (4) | 47 (20) | |
| 法学部夜間主コース | 85 (43) | 32 (17) | 8 (6) | 0 (0) | 8 (6) | 25.0 | 4 (1) | 49 (25) | |
| 経済学部 | 140 (49) | 120 (47) | 96 (37) | 0 (0) | 96 (37) | 80.0 | 15 (1) | 5 (1) | |
| 経済学部夜間主コース | 67 (20) | 44 (9) | 29 (5) | 0 (0) | 29 (5) | 65.9 | 9 (4) | 14 (7) | |
| 理学部 | 232 (63) | 76 (28) | 41 (17) | 11 (3) | 52 (20) | 68.4 | 150 (34) | 6 (1) | |
| 医学部 医学科 | 91 (24) | — | — | — | — | — | — | — | |
| 医学部 総合薬学科・保健学科 | 191 (152) | 142 (120) | 103 (86) | 4 (4) | 107 (90) | 75.4 | 29 (19) | 20 (13) | |
| 歯学部 | 53 (21) | — | — | — | — | — | — | — | |
| 工学部 | 567 (76) | 175 (42) | 143 (36) | 1 (0) | 144 (36) | 82.3 | 361 (31) | 31 (3) | |
| 生物生産学部 | 122 (67) | 42 (30) | 30 (22) | 0 (0) | 30 (22) | 71.4 | 69 (33) | 11 (4) | |
| 計 | 2,524 (1078) | 1,292 (718) | 746 (409) | 134 (90) | 880 (499) | 68.1 | 855 (216) | 233 (99) | |
| 文学研究科 | 49 (15) | 31 (8) | 1 (0) | 5 (0) | 6 (0) | 19.4 | 3 (1) | 15 (6) | |
| 教育学研究科 | 197 (92) | 128 (65) | 29 (20) | 57 (22) | 86 (42) | 67.2 | 42 (17) | 27 (10) | |
| 社会科学研究科 | 102 (43) | 40 (15) | 18 (8) | 3 (1) | 21 (9) | 52.5 | 14 (7) | 48 (21) | |
| 理学研究科 | 134 (33) | 103 (28) | 73 (21) | 6 (0) | 79 (21) | 76.7 | 29 (4) | 2 (1) | |
| 先端物質科学研究科 | 97 (10) | 77 (9) | 74 (9) | 1 (0) | 75 (9) | 97.4 | 18 (1) | 2 (0) | |
| 医学系研究科 | 2 (1) | 1 (1) | 1 (1) | 0 (0) | 1 (1) | 100.0 | 0 (0) | 1 (0) | |
| 保健学研究科 | 29 (20) | 9 (7) | 4 (2) | 0 (0) | 4 (2) | 44.4 | 2 (1) | 18 (12) | |
| 医歯薬学総合研究科 | 51 (26) | 41 (22) | 28 (17) | 3 (1) | 31 (18) | 75.6 | 7 (1) | 3 (3) | |
| 工学研究科 | 319 (23) | 298 (20) | 290 (18) | 1 (0) | 291 (18) | 97.7 | 13 (1) | 8 (2) | |
| 生物圏科学研究科 | 108 (31) | 73 (19) | 57 (13) | 0 (0) | 57 (13) | 78.1 | 20 (4) | 15 (8) | |
| 国際協力研究科 | 53 (22) | 26 (12) | 17 (6) | 1 (0) | 18 (6) | 69.2 | 12 (4) | 15 (6) | |
| 計 | 1,141 (316) | 827 (206) | 592 (115) | 77 (24) | 669 (139) | 80.9 | 160 (41) | 154 (69) | |
| 特殊教育特別専攻科 | 10 (10) | 7 (7) | 0 (0) | 2 (2) | 2 (2) | 28.6 | 1 (1) | 2 (2) | |
| 計 | 10 (10) | 7 (7) | 0 (0) | 2 (2) | 2 (2) | 28.6 | 1 (1) | 2 (2) | |

注:()内は女子で内数。
医学部医学科、歯学部は卒業生のみ掲載

大学院博士課程後期および大学院博士課程(医学、歯学)は除く。